



節目を大切に！

20代の頃、大学時代の友人に誘われてハーフマラソンに出場したことがあります。静岡県のある陸上競技場をスタートして一般道を走り、10キロ地点の折り返し地点を周り、スタートした競技場に戻ってくるというコースでした。当時は社会人バレーのチームに所属していて運動はそれなりにやっていたものの、マラソンの練習なんてほとんどしない状態でレースに臨んだので、20キロ走るのが辛かったのを今でも覚えています。

その辛かった20キロの中でも折り返し地点までの10キロは「いつまでこの道が続くんだろう」と何度も何度も考え、やっとの思いで折り返し地点に辿り着きました。その後の10キロはさっき見た景色の中、ゴールの競技場もイメージできているので、気持ちも軽くなって何とかゴールテープを切ることができました。

2年生の10月は高校生活の折り返し地点です。折り返しと言っても残り半分は同じ道に戻るわけではなく（人生の）一本道をただただ突き進むわけですが、これまでの経験を生かして（平坦な道ばかりではありませんが）みんなと一緒に走り抜けましょう。

高校生活の中間地点の今は大きな「節目」で、ここから来年の夏までは「高校生活の充実期」を迎えます。部活動では君たち2年次生が主体となった大会が開催され、学校行事でも修学旅行など大きな行事が控えています。更に学習面では5教科の模擬試験が始まり、大学入試に向けた準備が本格的に開始されます。この「節目」を迎えるにあたり、自らの本気スイッチを一段階上げて再スタートを切りましょう！

2年次主任 平岩岳実

～10月行事予定～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	土			16	日		
2	日			17	月	A	きずなの日
3	月	A	後期始業式 きずなの日 自転車ステッカー一点検	18	火	A	総探講演会 短縮60分授業(1～3校時)
4	火	A		19	水	A	ウォーキング大会予備日
5	水	A	芸術鑑賞会 短縮60分授業(1～3校時)	20	木	A	
6	木	A		21	金	A	
7	金	A	ウォーキング大会事前指導 短縮60分授業	22	土		
8	土		土曜講座	23	日		
9	日			24	月	B	
10	月		スポーツの日	25	火	B	報告会・生徒総会 短縮50分授業
11	火	B		26	水	B	
12	水	B	第25回健康の森ウォーキング大会	27	木	B	
13	木	B	第2回学校評議員会 生徒協議会	28	金	B	
14	金	B		29	土		
15	土			30	日		
				31	月	A	第2回生活実態調査

保護者のみなさまへ

①修学旅行について

先日の修学旅行関係通知の通り、広島・関西方面での旅行計画を立て、詳細を準備しております。10月のLHRでは部屋割りやタクシー班編成、クラス別行動の計画を各クラスの修学旅行委員会を中心にしていきます。更に11月には事前学習として平和教育についての講演会を予定しております。コロナの影響で方面変更はしましたが、当初の予定を上回る修学旅行となるよう準備していきたいと思っております。

②健康の森ウォーキング大会について

10月12日には3年ぶりに実施する方向で準備を進めております。多くの保護者の皆さまにもご協力いただくことになり、感謝いたします。コロナで止まっていた諸々の行事が再開し、これまで以上に活気ある学校生活になることを期待しております。

③履修本登録について

11月には令和5年度履修本登録が予定されております。来年度3年次の科目履修を決定し、大学入試で利用する科目を意識しての科目履修となります。本登録用紙が10月下旬に配付されますので、履修決定につきましては御子弟とよくご相談いただきますようお願いいたします。

◎先生方からの寄稿 今月は1組担任 細野ゆかり先生 と 副担任 田邊優樹先生 です。

世界に誇れる山梨 細野ゆかり

第2回定期試験を終えて少しほっとしているところでしょうか。季節は移り変わって「実りの秋」を迎えています。さて、ご存知の通り、今年7月、滋賀県の琵琶湖地域とともに山梨県峡東地域（甲州市、山梨市、笛吹市）が「世界農業遺産」に認定されました。「扇状地の傾斜地において、土壌や地形、気象等に応じた、ブドウやモモなどの果樹の適地適作が古くから行われ、独自のブドウの棚式栽培が開発され、現在まで継承されている。」として、日本国内で13地域目の認定となりました。

日本のブドウ栽培発祥の地といわれる場所の一つが山梨にあります。甲州市勝沼町の柏尾山大善寺です。ドラマ「逃げるは恥だが役に立つ」の勝沼ぶどう狩りのロケ地として有名になりましたが、このお寺は養老2年（718年）、僧行基が日川溪谷の岩上で、霊夢により感得された像～手に葡萄を持った薬師如来と日光・月光菩薩の薬師三尊～を刻み安置して開かれたと伝えられます。ブドウ「甲州」は平安時代にはすでに栽培されていたとも言われています。この「甲州」は現在、生食はもちろん、白ワインの原料としても代表的な品種です。また、モモ、スモモ、カキなども古くから栽培され、江戸時代にはすでに果樹の産地として知られていたようです（『本朝食鑑』巻之四 菓部 山菓類三十二種、蓆菓類五種）。

去年の鳳凰学では「山梨に生きる」をテーマに山梨のことについて調べ、地元のことなのに新たに知ったことも多かったと思います。山梨をもっと知って、国内外に発信してもらえたらと思います。西高の登下校で目に入るもの一つひとつについて、歴史や変遷、他地域との違い等、勉強の合間に思いを巡らせてみましょう。



(写真左：我が国固有品種「甲州」ブドウ / 写真右：峡東地域の「モモ」)

参考：◎農林水産省
農村振興>世界遺産・日本農業遺産>世界農業遺産・
日本農業遺産認定地域>山梨県峡東地域

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kantai/giahs_3_111.html

*写真を含む

◎日本経済新聞 山梨・峡東地域の果樹栽培、世界農業遺産に認定

<https://www.nikkei.com/article/D>

2A7000000/

◎『本朝食鑑』 国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2557333?tocOpened=1>

◎柏尾山大善寺 配布資料・境内展示資料

Time is money 田邊優樹

皆さんはスキューバダイビングって知っていますか？エアタンク背負って海に潜るあれです。実はスキューバダイビングをするにはライセンスが必要で、そのランクに応じて潜水可能な深度が違います。観光地などでよく目にする初心者向けのスキューバ体験はライセンス不要で、初めてでも危険が無いように水深10m付近までしか潜れません。この程度では、お魚がいるなあくらいにしかありません。まあ、偉そうなこと言っている私も大して潜れないわけですが。その日の海のコンディションや地形にも寄りますが、だいたい水深20mくらいになると3次元をどの方向にも動けます。この万能感はものすごいです(語彙力)。さらに水深30mを超えると陽の光が届かなくなってきて、視界が深い藍色になり、魚が光輝き始めます。その光景は得も言われぬ幻想的な世界です。他にも、運がいいとイルカやウミガメと泳ぐこともできます。船の上から見る可愛らしいイルカとはまた違って、イルカのカンパシやスピードを体感でき、恐怖すら感じるほど。それにウミガメって、水中ではめちゃくちゃ速いんですよ！

突然ですが、一般的な4年制大学の休日は1年でどれくらいあるか知っていますか？私は多すぎだろ！と思い、学部1年の時に実際に暦を数えました。だいたいですが、1年の半分くらいはお休みです。それに気づいた私は、この4年間でしか出来ない大きなこと(スキューバのライセンス取得)をしました。皆さんのこれからの4年間もしくは6年間は非常に大切な時間です。学問に遊びに部活に、こんなにも自分のためだけに時間を使える期間というのは、恐らく大学が最後です。今は辛いことも多くあると思いますが、乗り越えた先には楽しいキャンパスライフが待っています。人生辛いことばかりじゃありません。



我慢強く、グッと耐えて自分が思い描く未来を掴んでください。